

平成29年3月期 決算説明会 データブック

平成29年5月31日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンドアード : 4837)

平成29年3月期 決算ピックアップ

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、雇用・所得面において改善が続き、緩やかな回復基調にあるものの、個人の消費マインドにおいては力強さを欠く状況が続いております。また世界経済においても、中国や新興国経済の成長鈍化に加え、英国のEU離脱問題や米国新大統領の経済・貿易施策の動向等、不透明な状況の中、金融市場は不安定な状況で推移し、景気の先行きは依然として不透明感が続く状況となりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めてまいりました。また、収益構造の抜本的改善の実現に向けた事業ポートフォリオの再構築を推進すべく、不採算店舗の撤退等を積極的に推進するとともに、本部管理コスト削減による間接費の圧縮に取り組み、経営意思決定の早期化と事務処理効率化を目的とした本社機能の統合を行いました。

■ 平成29年3月期 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	平成28年3月期				平成29年3月期						平成29年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		前 期 比		通 期(計画)	
		構成比		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	業績予想	差額
売上高	80,234	100.0%	159,707	100.0%	75,110	100.0%	148,433	100.0%	△ 11,273	△ 7.1%	151,000	△ 2,566
売上原価	72,237	90.0%	142,310	89.1%	67,018	89.2%	129,916	87.5%	△ 12,394	△ 8.7%	—	—
売上総利益	7,997	10.0%	17,396	10.9%	8,091	10.8%	18,517	12.5%	1,120	6.4%	—	—
販売費及び一般管理費	8,998	11.2%	18,168	11.4%	8,913	11.9%	17,247	11.6%	△ 920	△ 5.1%	—	—
営業利益	△ 1,001	△ 1.2%	△ 771	△ 0.5%	△ 821	△ 1.1%	1,269	0.9%	2,040	—	1,600	△ 330
営業外収益	498	0.6%	955	0.6%	441	0.6%	800	0.5%	△ 154	△ 16.2%	—	—
営業外費用	714	0.9%	1,273	0.8%	3,026	4.0%	5,037	3.4%	3,763	295.5%	—	—
経常利益	△ 1,217	△ 1.5%	△ 1,089	△ 0.7%	△ 3,406	△ 4.5%	△ 2,966	△ 2.0%	△ 1,877	—	△ 1,200	△ 1,766
特別利益	136	0.2%	1,512	0.9%	0	0.0%	1,309	0.9%	△ 203	△ 13.5%	—	—
特別損失	281	0.4%	3,764	2.4%	284	0.4%	1,312	0.9%	△ 2,452	△ 65.1%	—	—
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	△ 1,402	△ 1.7%	△ 7,120	△ 4.5%	△ 3,459	△ 4.6%	△ 3,220	△ 2.2%	3,899	—	△ 3,300	79
総資産	85,774	—	74,379	—	71,856	—	67,223	—	△ 7,156	—	—	—
純資産	17,722	—	11,445	—	6,547	—	7,403	—	△ 4,041	—	—	—
自己資本	17,722	—	11,445	—	6,547	—	7,403	—	△ 4,041	—	—	—
自己資本比率	20.7%	—	15.4%	—	9.1%	—	11.0%	—	△ 4.4%	—	—	—
ROE(自己資本当期利益率)	△ 6.4%	—	△ 37.9%	—	△ 38.5%	—	△ 34.2%	—	3.7%	—	—	—
ROA(総資産経常利益率)	△ 1.4%	—	△ 1.3%	—	△ 4.7%	—	△ 4.2%	—	△ 2.9%	—	—	—

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】1,484.3億円(業績予想対比△1.7%)

□ 長引く景況感の悪化に伴い個人消費が力強さを欠く状況が続き、同業他社との低価格競争が激化するなか、収益構造の抜本的改善を図るべく、特にコントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業及びレストランカラオケ事業において、業績の回復が見込めない不採算店舗の撤退を積極的に推進した結果、計画を下回ったものの、トータルアウトソーシング事業において施設管理、学童保育、学校給食等の受託が好調だったことにより、全体としては概ね計画通り。

【営業利益】12.6億円(業績予想対比△20.7%)

□ 不採算店舗の早期撤退と早期黒字化に向けたコスト管理の徹底に注力した結果、セグメント別では特にレストランカラオケ事業において、前年同期比で約15億円の営業利益改善を果たし、前期の営業赤字から、連結決算での営業黒字転換を実現したものの、原材料価格の高騰や慢性的な人手不足等による人件費、物流コスト高騰の影響などによりグループ全体のコストが増加し、営業利益計画を下回る。

【経常利益】△29.6億円(業績予想△12.0億円)

□ 主に持分法適用関連会社における不採算店舗の撤退後の事業の再構築に伴い、持分法による投資損失を計上したことにより、経常利益計画を大きく下回る。

【純利益】△32.2億円(業績予想△33.0億円)

□ 主に役員退職慰労引当金の戻入益や関連会社における株式譲渡価額の返還債務の戻入による特別利益の計上などにより、全体としては概ね計画通り。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び17～20ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	28年3月期	29年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	41,091	39,980	△ 1,110	△2.7%
コントラクトフードサービス事業	30,406	29,425	△ 980	△3.2%
メディカルフードサービス事業	34,442	33,257	△ 1,184	△3.4%
レストランカラオケ事業	30,717	19,827	△ 10,889	△35.5%
コンビニエンス中食事業	14,700	14,457	△ 243	△1.7%
トータルアウトソーシング事業	40,901	41,861	959	2.3%
その他	10,029	8,659	△ 1,370	△13.7%
消去及び全社	△ 42,582	△ 39,036	3,545	—
売上高 計	159,707	148,433	△ 11,273	△7.1%

(単位:百万円)

セグメント利益	28年3月期	利益率	29年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	2,909	7.1%	2,746	6.9%	△ 162	△5.6%
コントラクトフードサービス事業	1,601	5.3%	1,661	5.6%	59	3.7%
メディカルフードサービス事業	1,050	3.0%	1,535	4.6%	484	46.2%
レストランカラオケ事業	△ 2,144	△7.0%	△ 583	△2.9%	1,561	—
コンビニエンス中食事業	294	2.0%	290	2.0%	△ 3	△1.2%
トータルアウトソーシング事業	3,111	7.6%	2,061	4.9%	△ 1,049	△33.7%
その他	△ 859	△8.6%	△ 215	△2.5%	643	—
消去及び全社≒HQコスト	△ 6,735	—	△ 6,227	—	507	—
営業利益	△ 771	△0.5%	1,269	0.9%	2,040	—

□ エスロジックス事業は、グループ外への食材・消耗品等の販売を強化し、外部売上が増加した一方で、不採算店舗撤退の影響により内部売上が減少したことにより売上高は399.8億円(前期比2.7%減)となりました。また、売上高の減少及び仕入価格の高騰などにより、セグメント利益は27.4億円(前期比5.6%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等により売上高は294.2億円(前期比3.2%減)となりましたが、コスト管理の徹底、既存店舗の解約防止、赤字店舗の改善並びに撤退などによりセグメント利益は16.6億円(前期比3.7%増)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等の影響により売上高の減少はあったものの、院外調理品の充実、既存店舗の解約防止、赤字店舗の運営改善強化などによって既存店舗の収益力の強化と経営効率の改善を推進した結果、売上高は332.5億円(前期比3.4%減)、セグメント利益は15.3億円(前期比46.2%増)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、不採算店舗の抜本的改善を早期に実現すべく、平成28年3月31日付でシダックストラベラーズコミュニティー(株)が持分法適用関連会社へ移行したことにより、第1四半期連結累計期間より当該会社の売上高並びにセグメント利益はレストランカラオケ事業から除かれております。また、様々な集客施策を行い、加えて宴会強化に係る法人営業を実施し、販売促進を強化するとともに、コスト削減を徹底し、収益性の向上に努めてまいりました。これにより売上高は198.2億円(前期比35.5%減)、セグメント損失は5.8億円(前年同期21.4億円のセグメント損失)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、同業他社・大手コンビニエンスストアとの出店競争が依然厳しい環境の中で、お客様の生活ニーズに応じた利便性向上・満足度向上の実現に取り組む、労務費及び廃棄の適正化等の経費効率運用を行い、既存店のブラッシュアップと赤字店舗の改善に努めてまいりましたが、当期においては改善効果を上回るPOS端末の入れ替え等によるコスト増の影響があった結果、売上高は144.5億円(前期比1.7%減)、セグメント利益は2.9億円(前期比1.2%減)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、地方自治体においては財政再建と地域活性化へのニーズが高まっており、自治体が提供するサービスを民間に委託する流れが続いている一方で、民間企業においては、景気回復傾向にあるものの不透明な状況が続いており、なお一層のコスト削減が迫られている状況にあります。このような環境のもと、車両運行管理事業・社会サービス事業とも、現場でサービスにあたる社員の教育に力を入れ、お客様のニーズに応じた業務を適正な価格にて受託するように努めてまいりましたが、貸切バス業務においては、訪日団体の送迎業務の受託拡大により売上高は増加したものの、業務拡大に伴う初期投資コスト増加の吸収には至りませんでした。結果、売上高は418.6億円(前期比2.3%増)、セグメント利益は20.6億円(前期比33.7%減)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】4ページ及び9～10ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	28年3月期	29年3月期	増減額
現金及び預金	11,135	8,543	△ 2,591
売上債権	13,031	12,968	△ 62
その他流動資産	6,834	5,861	△ 972
有形固定資産	24,244	22,710	△ 1,533
のれん	1,334	1,259	△ 74
敷金及び保証金	5,381	4,800	△ 581
その他固定資産・投資等	12,418	11,079	△ 1,339
資産計	74,379	67,223	△ 7,156

(単位:百万円)

	28年3月期	29年3月期	増減額
仕入債務	7,796	7,176	△ 620
借入金・社債(短期・長期)	33,050	34,270	1,220
リース債務(短期・長期)	2,434	2,532	98
資産除去債務	2,371	2,115	△ 256
その他負債	17,282	13,725	△ 3,556
負債計	62,934	59,819	△ 3,114
純資産	11,445	7,403	△ 4,041
自己資本比率	15.4%	11.0%	△ 4.4%

□ 総資産は、前期末に比べ71.5億円減少し672.2億円(前期末比9.6%減)となりました。

主に、現金及び預金が25.9億円、減価償却等により有形固定資産が15.3億円及びその他固定資産・投資等が13.3億円減少したことによります。

□ 負債は、前期末に比べ31.1億円減少し598.1億円(前期末比4.9%減)となりました。

主に、借入等により借入金・社債が12.2億円増加した一方、仕入債務が6.2億円及び役員退職慰労引当金の取崩し等によりその他負債が35.5億円減少したことによります。

□ 純資産は、前期末に比べ40.4億円減少し74.0億円(前期末比35.3%減)となりました。

主に、親会社株主に帰属する当期純損失32.2億円の計上と剰余金の配当5.8億円により利益剰余金が38.0億円減少したことによります。

以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ4.4ポイント低下し11.0%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信 サマリー及び【添付資料】5ページ、15～16ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	28年3月期	29年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	469	1,783	1,313
投資活動キャッシュ・フロー	1,400	△ 2,913	△ 4,314
財務活動キャッシュ・フロー	△ 1,860	△ 1,330	529
換算差額	△ 19	△ 6	12
現金・同等物期末残高	10,362	7,894	△ 2,467

□ 営業活動の結果得られた資金は17.8億円(前期は4.6億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純損失が29.6億円計上されたほか賞与引当金の減少額が3.0億円及び役員退職慰労引当金の減少額が6.7億円、仲裁裁定に伴う特別利益が5.0億円あった一方、減価償却費が30.5億円、減損損失が7.4億円及び持分法投資損失が34.7億円あったことによります。

□ 投資活動の結果使用した資金は29.1億円(前期は14.0億円の資金獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入が10.9億円、過年度子会社株式売却代金の回収による収入が4.8億円、貸付金の回収による収入が3.0億円及び保険積立金の解約による収入が3.1億円あった一方、有形固定資産の取得による支出が22.6億円及び貸付による支出が25.6億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用された資金は13.3億円(前期は18.6億円の資金使用)となりました。

これは主に、短期借入れによる収入が95.7億円、長期借入れによる収入が109.7億円あった一方、短期借入金の返済による支出が75.7億円、リース債務の返済による支出が13.7億円、長期借入金の返済による支出が115.2億円及び配当金の支払額が5.8億円あったことによります。

以上の結果、当期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ24.6億円減少し78.9億円(前期末比23.8%減)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	27年3月期	28年3月期	29年3月期
自己資本比率(%)	28.3	15.4	11.0
時価ベースの自己資本比率(%)	22.8	26.5	25.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	656.3	7,904.1	2,119.8
インレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.3	0.5	2.3

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	27年3月期	28年3月期	29年3月期	増減額
借入金・社債	32,136	33,050	34,270	1,220
リース債務	4,655	2,434	2,532	98
割賦未払金	1,106	1,662	998	△ 663
未経過リース料期末残高相当額(注)	552	633	814	180
合計	38,450	37,781	38,615	834

(注) 不動産リース取引は除く

V. 平成30年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】6～7ページ記載]

■ 次期の見通し

当社グループは、「食」を中心とした水平垂直統合型グループ構造の推進により経営効率化を図り、「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービス事業など様々なサービスを組み合わせてお客様に提供する「トータルアウトソーシングサービス」を一層推進し、総合サービス企業として持続的な企業価値の向上に努め、業務の受託拡大と営業体制の強化を図り、グループ全体の事業ポートフォリオを再構築すべく、特にトータルアウトソーシング事業の更なる強化を推進いたします。また、事業活動を通じて健全・健康な社会を実現し、様々な社会問題を解決する企業「ソーシャル・ウェルネス・カンパニー」を目指し環境・食料・地域の問題に対しても積極的に取り組んでまいります。

次期連結業績予想は、売上高1,520億円、営業利益22億円、経常利益9.7億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	29年3月期 実績	30年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	148,433	152,000	3,566	2.4%
営業利益	1,269	2,200	930	73.3%
経常利益	△ 2,966	970	3,936	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 3,220	500	3,720	—

VI. セグメント別店舗数推移表

27年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウケ	増加		24	6	5	2	3	5	45	8	2	1	2	2	2	62
	減少		9	5	4	3	3	4	28	4	6	7	2	6	37	90
	残	1,343	1,358	1,359	1,360	1,359	1,359	1,360	1,360	1,364	1,360	1,354	1,354	1,350	1,315	1,315
メディカル	増加		28	5	7	3	4	2	49	3	5	5			5	67
	減少		2	7	3	3	4	4	23	2	6	3	4		35	73
	残	803	829	827	831	831	831	829	829	830	829	831	827	827	797	797
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		0	1	1	15	0	1	18	0	2	0	1	0	0	21
	残	300	300	299	298	283	283	282	282	282	280	280	279	279	279	279
車両管理台数	増加		165	30	30	27	10	22	284	27	29	11	15	13	21	400
	減少		178	21	17	20	18	7	261	32	15	33	5	11	43	400
	残	3,611	3,598	3,607	3,620	3,627	3,619	3,634	3,634	3,629	3,643	3,621	3,631	3,633	3,611	3,611
社会管理人員	増加		1,046	30	27	13	99	130	1,345	51	70	6	22	20	60	1,574
	減少		472	85	37	195	117	57	963	15	16	13	47	19	57	1,130
	残	8,236	8,810	8,755	8,745	8,563	8,545	8,618	8,618	8,654	8,708	8,701	8,676	8,677	8,680	8,680
コンビニエンス中食	残	382			388			383			387				368	

28年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウケ	増加		8	7	2	3	1	3	24	2	1	2	4	2	4	39
	減少		3	2	5	3	6	4	23	5	2	7	1	5	30	73
	残	1,315	1,320	1,325	1,322	1,322	1,317	1,316	1,316	1,313	1,312	1,307	1,310	1,307	1,281	1,281
メディカル	増加		31	2	2	5		2	42	1	1	2	1	2	2	51
	減少		3	7	7	7	4	4	32	5	4		4	0	39	84
	残	797	825	820	815	813	809	807	807	803	800	802	799	801	764	764
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		3	0	0	0	1	1	5	0	0	1	1	1	2	10
	残	279	276	276	276	276	275	274	274	274	274	273	272	271	269	269
車両管理台数	増加		115	26	21	18	19	15	214	12	30	10	38	9	10	323
	減少		183	27	33	18	14	20	295	38	18	9	7	10	19	396
	残	3,611	3,543	3,542	3,530	3,530	3,535	3,530	3,530	3,504	3,516	3,517	3,548	3,547	3,538	3,538
社会管理人員	増加		709	38	9	55	33	23	867	12	18	49	6	15	32	999
	減少		572	67	69	31	26	61	826	81	7	16	42	4	28	1,004
	残	8,680	8,817	8,788	8,728	8,752	8,759	8,721	8,721	8,652	8,663	8,696	8,660	8,671	8,675	8,675
コンビニエンス中食	残	368			374			369			369				361	

29年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウケ	増加		10	4	4	0	1	7	26	4	5	0	2	0	2	39
	減少		6	8	4	3	3	11	35	2	3	4	8	3	33	88
	残	1,281	1,285	1,281	1,281	1,278	1,276	1,272	1,272	1,274	1,276	1,272	1,266	1,263	1,232	1,232
メディカル	増加		25	4	8	0	1	4	42	4	1	1	0	0	2	50
	減少		2	4	1	3	7	9	26	7	3	0	8	2	34	80
	残	764	787	787	794	791	785	780	780	777	775	776	768	766	734	734
レストランカラオケ	増加			1					1						1	
	減少			4	3	1	44	24	76	2	0	1	2	0	0	81
	残	269	269	266	263	262	218	194	194	192	192	191	189	189	189	189
車両管理台数	増加		131	13	25	32	18	24	243	23	20	22	21	10	12	351
	減少		95	20	34	24	17	18	208	65	17	13	9	16	14	342
	残	3,538	3,574	3,567	3,558	3,566	3,567	3,573	3,573	3,531	3,534	3,543	3,555	3,549	3,547	3,547
社会管理人員	増加		661	14	14	47	53	27	816	49	15	12	8	3	4	907
	減少		501	14	3	7	83	97	705	60	3	52	13	1	21	855
	残	8,675	8,835	8,835	8,846	8,886	8,856	8,786	8,786	8,775	8,787	8,747	8,742	8,744	8,727	8,727
コンビニエンス中食	残	361			364			362			370				364	

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

27年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,997,480	3,236,367	2,842,429	2,891,107	3,734,033	2,696,540	18,397,956	2,594,899	2,775,631	4,456,555	3,251,381	2,437,678	2,970,258	36,884,357
客数(千人)		2,045	2,198	2,040	2,128	2,570	1,967	12,946	1,798	1,845	2,315	2,039	1,712	2,050	24,706
28年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,457,108	2,687,991	2,250,263	2,469,325	2,951,708	2,251,615	15,068,010	2,157,582	2,217,603	3,779,197	2,700,042	1,984,800	2,394,077	30,301,310
客数(千人)		1,702	1,733	1,542	1,668	1,833	1,529	10,007	1,457	1,407	1,891	1,613	1,351	1,616	19,342
29年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,121,737	2,149,275	1,927,537	2,170,017	2,311,890	1,680,480	12,360,935	1,520,073	1,551,220	2,621,353	1,897,031	1,328,450	1,779,755	23,058,818
客数(千人)		1,407	1,425	1,348	1,440	1,518	1,135	8,273	1,018	960	1,312	1,139	892	1,186	14,780

※レストランカラオケ事業にはシダックストラベラーズコミュニティ(株)(持分法適用関連会社)の実績が含まれております。